

総会について

平成18年度通常総会を開催します。一年間の活動を振り返り、今後一年の計画について話し合います。

- 平成18年5月29日(月) 18時30分から
 場所 盛岡南ショッピングセンターNACSホール
- 議題
- ・平成17年度事業報告
 - ・平成17年度収支決算並びに監査報告
 - ・平成18年度事業計画
 - ・平成18年度収支予算について
 - ・任期満了における役員選任について

5月中旬に往復はがきで案内を出します。できるだけ多くの方へ出席していただきたいですが、どうしてもこれならない方は委任状に記入の上、ハガキをご投函ください。

総会は会員の意見を反映し、今後の活動につなげる場です。100年後の子どもたちのために、今出来ることから始めてみませんか。皆様のご参加・ご意見をお待ちしています！

会費について

4月から新しい年度になりました。会員として継続される方は会費の納入をお願いします。近日中に連絡が無い場合は事務局から確認の連絡をいたします。

会費の納入は、事務局に持参していただくか、振込をお願いいたします。
振込みは以下のどちらかに。

岩手中央農業協同組合 紫波町役場出張所
 普通口座 4217490
 口座名義：紫波みらい研究所 理事長 高橋米勝
 郵便貯金総合通帳 記号18390 番号12505671
 口座名義：NPO法人紫波みらい研究所

年会費	個人会員： 2,000円
	団体会員： 3,000円
	賛助会員： 10,000円

編集後記

今年度も早くも半分になりますが、ようやくみらい通信をお届けすることができました。9月10月はみらい研究所だけでなく、町内の各団体の色々なイベントが盛りだくさんです。ぜひ皆さん奮ってご参加ください！

会員数

平成18年8月現在
 個人会員：98人
 団体会員：2団体
 賛助会員：4団体

みらい通信

第14号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
 連絡先 〒028-3318
 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
 電話 019-671-2244 / FAX 019-671-2243
 E-Mail miraiken@shiwa-mirai.com
 ホームページhttp://www.shiwa-mirai.com
 発行日 平成18年8月

わが心の郡山駅 お話会開催！

平成18年3月5日(日) 参加人数：59人

平成18年3月5日(日)、日詰1区公民館において、小冊子「わが心の郡山駅」の発行を記念してお話会を開催しました。会場は、お話を伺った皆さんやこのお話会に興味を持って参加してくれた地域の方々でいっぱいになりました。「どっこ舎レポート 探訪」でおなじみの内城弘隆さんから、日詰郡山駅周辺の井戸と町の歴史についてお話いただきました。今残っている井戸は、庶民と町が歩んできた歴史の実像を伝える文化財として大事にし、後世に伝えていく努力を怠るべきではないと熱く語りました。

日詰の習町で「町の小さな文化館“権三ほーる”」を主催している童話作家の畠山貞子さんからは、毎日目にしている日詰の町のたたずまいから生まれた童話を朗読していただきました。方言を交えながらのやわらかな朗読は、私たちを物語の中に引き込みました。

お話会の最後に、皆さんからお聞きした昔の遊びをやってみました。聞き取り調査員の小笠原悦子さんが郡山駅周辺の地図をすごろくにしました。



おかめ・ひよつこの福笑いも手作りです。Tさんの孫は、福笑いが楽しくてなかなか止めません。子どもの頃を思い出しておはじきやお手玉に挑戦しましたがうまくいきません。思いっきりバツをたたきつけひっくりかえしていたSさん、筋肉痛になりませんでしたか。

み～んな童心に戻って過ごしたあの時間、とてもとても大切な一時となりました。



聞き取り調査員小笠原さんのお話



郡山駅周辺地図のすごろくを囲んで

地元学部会理事 八重畑祐見子

みらい研究所では、平成16年度に日詰郡山駅周辺に住んでおられるお年寄りの皆さんから、昔の町のたたずまいや暮らしの様子などについてお話を伺うとともに、写真などの資料をご提供いただきました。

このお話会では、平成17年度のみらい研の事業として、皆さんからお聞きした内容の

ごく一部をまとめた小冊子「わが心の郡山駅」を紹介し、今後の地元学部会の活動についてお話ししました。



ここまでこぎつけることが出来たのは、聞き取りに快く応じ協力して下さった皆さん、そして、地域の宝物を埋もれさせたくないという思いから日曜日や夜遅くまで編集や校正を行った聞き取り調査員の小笠原さんや地元学部会スタッフのおかげと感謝しています。

今後、この小冊子「わが心の郡山駅」は、このまま放っておけば消え、忘れ去られようとしている文化や暮らしを語り継いでいくための資料として、地域で活用していただきたいと考えています。地域の宝物をみんなのものとして語り継いでいく活動は、世代間交流、地域交流にも発展していくことと思っています。

地元学部会では、この小冊子を

使ったお話や昔の遊びの実宴会を計画し、公民館や子ども会などの活動に役立てていきたいと考えています。お話の内容を聞きたい、自分たちの地域でも聞き取りをしたいと思われた方はみらい研究所までご一報ください。

また、小冊子の改訂版・昔の遊び集・方言集などの小冊子作りも計画中です。

聞き取りまとめを終えて 小笠原悦子

3月5日、ようやく小冊子完成の披露会を向かえることが出来ました。これも聞き取りさせていただいた皆さんやみらい研の地元学の皆様のおかげだと感謝しております。前年に引き続き今回も6ヵ月お世話になって役目を終え、今、家にいて思い出すのは元気なお爺ちゃんやお婆ちゃんの顔です。聞き取りのときに、戦争の話になると暗い顔をして、「もう二度と生きてるうずに経験すたぐねなはん」と話していたのを思い出します。町のことを聞くと、「あーあそごのどごぬ××の店っこあつてす」と一人が切り出すと次々と話が繋がって行きます。だんだん思い出して話の弾むこと。もっと生き活きするのは遊びの話でした。夕方まで夢中で遊び、5時に電気が点くのを合図のように家に帰ったそうです。真っ暗になるまで外で遊び、縦の繋がりもきちんとしていて、小さい子(妹や弟)を子

守のために連れて行っても安心だったと言います。「つせどき(ちいさい時)は家の手伝いもすたんとも、いっぺ遊んだもんだ」と楽しそうに話してくれました。今は安心して学校にも



小冊子の中。懐かしい写真がいっぱい

やれない時代。何でこんな時代になったのかと先輩たちは嘆いていました。

小冊子「わが心の郡山駅」が、こういう元気な町の間で、思い出話に花を咲かせるきっかけとなってくれることを願っております。郡山駅周辺のみならず、紫波町の皆さんが自分の思い出を大切にし、子や孫に語り伝えていって欲しいです。私はこの仕事をさせていただいたおかげでたくさんの宝物を得ました。色んな勉強をさせていただきました。これを土台にして相手の話を、広い心で聞くことが出来るような人間になるよう努力して行くつもりです。地元学の皆さんお疲れさまでした。

小冊子「わが心の郡山駅」について
小冊子をご希望の方は事務局までご連絡ください。 TEL019-671-2244



「うれしいひなまつり」と「春よ来い」を歌いました。



お手玉が3つ... 「さっすが〜！」

参加した皆さんからの声

- ・ご苦労様でした。皆さん楽しそうにしていたので良かったです。
- ・この事業がなければ永遠に埋もれてしまった貴重な話を次世代のためにつなぎとめることができたのは本当に素晴らしいことだったと思います。この意義の大きさは構成の人が知るところになると思います。
- ・地元(日詰)の方の協力があった結果だと思えます。今後は次の世代への伝承がカギとなるでしょう。
- ・自分の地域の地元学もやってみたいです。
- ・素晴らしい過去があって今がある。そして未来があるということを最近考えています。
- ・子どもたちにもっと参加して欲しかった。今度はあたたかい時期にできたら良いかなと思いました。
- ・たくさん聞き取りを頂いて、本にして、とても素晴らしいです。
- ・日詰地区にとどまらず、他地区でも同様の取り組みが進展するよう活動して欲しい。
- ・とても良いお仕事をされていると思いました。これからもこのような発表の会があるといいと思います。